

「中央アジア+日本」対話(第9回東京対話)

中央アジア ミニ映画祭 実施概要

1 実施団体

- 共催：外務省，独立行政法人国際交流基金，東京外国語大学，東京大学，筑波大学
- 協力：国立民族学博物館，福岡市総合図書館

2 参加条件

本映画祭はすべて**入場無料，事前申し込み不要**です。入場は先着順，全席自由席のため，満席となった場合は入場をお断りする場合がございますのであらかじめご了承ください。

3 開催場所／上映作品

(1) 東京外国語大学アゴラ・グローバル プロメテウス・ホール(定員 501名)

- 所在地：〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1
アクセスマップ：<http://www.tufs.ac.jp/access/>
キャンパスマップ：<http://www.tufs.ac.jp/abouttufs/campusmap.html>
- 日時：9月24日(土)14:30~17:00 (14時開場)
- 上映作品：「山嶺の女王 クルマンジャン」

1. 東京大学駒場キャンパス 21KOMCEE West レクチャーホール(定員 150名)

- 所在地：〒153-8902 東京都目黒区 駒場 3-8-1
アクセスマップ：http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map02_02_j.html
キャンパスマップ：http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_01_55_j.html
- 日時及び上映作品
 - ① 9月26日(月) 19:00-20:20 「明りを灯す人」
 - ② 9月27日(火) 18:45-20:10 「True Noon」
 - ③ 9月28日(水) 18:45-21:00 「山嶺の女王 クルマンジャン」
 - ④ 9月29日(木) 19:00-20:30 「アンダー・ヘヴン」
 - ⑤ 9月30日(金) 19:00-20:20 「くるみの木」

※各回とも上映開始の15分前開場

2. 国際交流基金 JFIC ホール[さくら](定員：各回 100 名)

- 所在地：〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1

(東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅から徒歩 3 分)

アクセスマップ <https://www.jpfc.go.jp/j/access/map.html>

- 日時及び上映作品

9 月 29 日(木) ①14:30-15:55 「True Noon」

②16:30-17:50 「明りを灯す人」

※全席自由(入替え制)

※開場は上映開始の 20 分前(①14 時 10 分、②16 時 10 分)

3. 筑波大学筑波キャンパス 1D201 教室(定員：各回 150 名)

- 所在地：〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1 丁目 1-1

アクセスマップ：http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba_access.html

キャンパスマップ：<http://www.tsukuba.ac.jp/access/gmap/gmap.php?i=117040>

- 日時及び上映作品

① 10 月 11 日(火) 18:00-20:20 「山嶺の女王 クルマンジャン」

② 10 月 12 日(水) 18:20-19:45 「True Noon」

③ 10 月 13 日(木) 18:00-19:30 「ダイダロス 希望の大地」

④ 10 月 14 日(金) 18:20-19:50 「伯父」(字幕なし)

⑤ 10 月 17 日(月) 18:20-19:15 「砂漠の女の歌」(字幕なし)

※各回とも上映の 10 分前開場

4 上映作品紹介

(1) 「山嶺の女王クルマンジャン」(キルギス, 2014 年, 日本語字幕付 136 分)

19 世紀、峻厳な山並みが美しい中央アジア東南部で、遊牧民の家に生まれた少女は、紆余曲折をへて指導者の妻になるが——。ロシア帝国が中央アジアを次々と勢力下に治めていった時代に、一人の女性として苦悩しながらも政治手腕を発揮したクルマンジャン・ダトカ(1811-1907)の生涯を、壮大なスケールで描く。クルマンジャンは、キルギス(クルグズスタン)独立後、最初に発行された紙幣の肖像となり、教科書にも登場するなど著名な存在。この映画には、かつての暮らしがあざやかに再現されており、民族誌としての見どころも多い。(提供：藤本透子(国立民族学博物館 助教)・吉田世津子(四国学院大学 教授))

(2) 「明りを灯す人」(キルギス, 2010 年, 日本語字幕付 80 分)

天山山脈のふもと、聖なるイシク・クル湖のほとりのキルギスの小さな村。手作りなのか決して立派とはいえない風車を男が手入れをしている。村人たちは彼のことを“明り屋さん”と呼ぶ。明り屋さんは、アンテナの調節や電気の修理など、どんな些細な用事でも自転車でかけつける。時には、裕福ではない家に無料で電気を使えるよう細工したりもする。村人たちの暮らしを第一に考え、

みんなからも愛される純朴な男だ。そんな明り屋さんの夢は、風車をいっぱい作って村中の電力を賄うことと、息子を授かること。そんな中、ラジオから政治的混乱のニュースが流れ、私腹を肥やそうと都会から価値観の違う者がやってくる。穏やかな時間が流れる田舎の村にも変化が起きようとしていた…。 (提供：ビターズエンド)

(3) True noon (タジキスタン, 2009年, 日本語字幕付 83分)

ソ連崩壊後初の、タジキスタン製作の長篇劇映画。ソ連邦崩壊後、境界近くの山岳地帯に、隣り合う二つの村があった。村人同士も仲がよく、気象観測所では、ロシア人が長く駐在し、家族の待つ故郷に帰るのを楽しみにしていた。そんなある日、境界上に鉄条網が張られ、お互いの村を自由に行き来できなくなる。村人の日常が“国境”に翻弄される中、ロシア人は益々遠ざかる故郷への想いを胸に、我が子のような助手の村娘が隣り村に嫁げるよう、孤軍奮闘する。結婚当日、式も何とか無事に終わりかけたその時、衝撃のラストが襲う。本作で長篇デビューを飾る監督は、紛争の絶えない世界情勢を反映させた上で、良心の象徴にも見える不屈な男に、平穏な未来へのかすかな祈りを託している。

(提供：服部香穂里)

(4) 「アンダー・ヘヴン」 (キルギス, 2015年, 日本語字幕付 88分)

反抗的なケリムと良心的なアマンの二人の兄弟は、石工の仕事をしてながら母と暮らしている。父親はケリムの借金のため、出稼ぎに出ている。二人が一人の少女サルタナに恋をしたことから、悲劇が起こる。『エデンの東』(55)のモチーフにもなっているとされている、旧約聖書「創世記」に登場する人類最初の殺人の加害者と被害者とされるカインとアベルのストーリーを、キルギスの広大な地で墓石の採石をする兄弟の物語に置き換えた、女性監督ダルミラ・チレプベルゲノワの野心作。本作は2015年のモントリオール世界映画祭ファーストフィルム・コンペティション部門で、スペシャル・メンションを受賞している。2014年の『Korgum Kelet』(未)でキルギス本国の権威あるアク・イルビリス賞の最優秀撮影賞を受賞したアクジョル・ベクボロトフによる壮麗なキルギスの大地の映像も、作品の大きな見どころである。(提供：SKIP シティ国際Dシネマ映画祭事務局)

(5) 「くるみの木」 (カザフスタン, 2015年, 日本語字幕付 81分)

のどかな田舎の一軒の家に、人びとの暮らしを見つめ続けているかのようなくるみの大木がある。ある日、くるみを収穫している若者に祖母は言う、「明日にも嫁を連れて来るんだよ!」。素直にうなずいた若者は、意中の相手をその日のうちに嫁入りさせようと友達たちを誘って出かけていく。結婚は家族ばかりでなく親戚中の一大事。父親も結婚を成就させるべく奔走するが、なかなか一筋縄ではいかない。——カザフスタンの人びとの日常を、風刺のきいたコメディ・タッチで生き生きと描いた本作品は、釜山国際映画祭などで複数の賞を受賞。ユーモアあふれる温かな眼ざしのなかに、社会への問いかけも秘められた佳作。[藤本透子(国立民族学博物館 助教)]

(6) 「ダイダロス 希望の大地」(カザフスタン, 2012年, 日本語字幕付 133分)

舞台は18世紀、広大な大地で平穏に暮らしていたカザフ族の集落に突然、モンゴル族が攻め込んできた。野蛮なモンゴル族に虐げられ、土地を取り上げられたカザフ族の人々は、山奥にひっそりと隠れ住むことを余儀なくされた。その数十年後、民族の誇り、そして愛する人を守るため、カザフ族の青年サルタイは10代の青年たちを率いて「Myn Bala(1000人の騎士)」と呼ばれる部隊を結成。復讐を誓いながら戦力を培い、敵陣へと乗り込んでいく。それは、何十年にも及ぶモンゴル族の迫害から祖国を開放する、歴史に残る闘いとなるのであった…。

(7) 「伯父」(ウズベキスタン, 2014年, 字幕なし 82分)

1980年代後半のブハラ。サルジャンは夏休みに伯父のジュマシュのもとへ遊びに行く。子供のないジュマシュじゃサルジャンを可愛がり、良き人生を送るためのアドバイスをする。

(8) 「砂漠の女の歌」(トルクメニスタン, 2014年, 字幕なし 53分)

首都アシガバットに暮らす画家は、ある日砂漠で暮らす女と出会う。美しい音色と共に奏でられる、現代トルクメニスタンの人間ドラマ。

(問合せ：外務省欧州局中央アジア・コーカサス室 兼盛・河合)

(TEL 03-5501-8303) (tokyotaiwa9@mofa.go.jp)